



少年補導委員（ちくま青パト隊）の1年

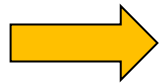
千曲市の少年補導委員（ちくま青パト隊）は、2年の任期で活動しています。委員は、区長様の推薦で小学校区ごとに出していただき、千曲市教育委員会が委嘱しています。

1年間を通していろいろな活動がありますが、委員の皆様は、責任感をもって取り組み、前向きな気持ちで活動してくださっています。子どもたちからも、「青パト隊のみなさん」と親しみを持って呼ばれるようになりました。



今回は1年間の活動を紹介します。下のコラムも合わせてお読みください。

1年間の活動紹介は2・3ページへ！



ちくま青パト隊を務めて

治田地区少年補導委員

少年補導委員（ちくま青パト隊）の活動を始めて、二年目になりました。

巡回は、治田小学校の玄関前から始まります。下校する子どもたちに、気をつけて帰るよう声をかけたり、さよならのハイタッチをしたり、じゃんけんをしたり。子どもたちの明るく元気な姿や声に励まされてこちらも楽しく見送っています。

ちくま青パト隊の活動は他に、児童センターの様子の見学、公園のパトロール、協力店の訪問などがあります。お店では店長さんや店員さんに、買い物で気にかかることがあるか、尋ねました。いずれもとても貴重な体験でした。

少年補導委員会定例会では、青少年のネットやスマホに関する研修もありました。今の子どもたちはスマホの時間が多く、日常的に長時間スマホを使うことで、成績の低下、視力の低下、身体への影響が心配されるそうです。親はもっと子どもに関心を持って日々を送り、親自身もスマホを見る時間を減らさないといけないということです。親が知るべきこと、するべきことを具体的に丁寧に教えていただきました。

ちくま青パト隊の活動や研修を通して、日常生活の中で子どもへの行動に関心を持つことや見守りが大切なことを感じています。

今年、娘が私の出身校でもある治田小学校に入学しました。下校時に娘を見送る場面もありました。学校には恩を感じていますし、恩返ししたい気持ちがあります。

今後の課題は、巡回以外の時もこれまでの経験を生かして自発的に子どもたちを見守って行くことです。日々努めていきたいと思えます。これからも「ちくま青パト隊」を続けていきたいです。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— スマホなし 家族で会話 楽しもう —

少年補導委員（ちくま青パト隊）の1年間

春、学校の新学期が始まりました。少年補導委員（ちくま青パト隊）を知ってもらうための学校訪問や、紹介式への参加がありました。下校指導に同行し、子どもたちと話したり、通学路の様子を見たりしました。学校の授業参観日には、授業を見させてもらいました。



あいさつ運動、登校する児童に「おはようございます！」



入学後まもなくの1年生下校に同行。安全に歩こう。



学校ボランティア紹介式で、青パト隊も自己紹介です。



各学校を訪問し、先生方と懇談させていただきました。



学校の先生方にもちくま青パト隊を覚えてもらいます。



保護者の方と一緒に、授業や部活動を参観しました。

夏、暑い日が続いた今年の夏。夏祭りのパトロールも行いました。ととにぎやかで、お祭りを楽しむ青少年の姿がたくさんありました。



先生、保護者の方、少年補導委員による合同巡回です。



屋代の茅の輪祭り。多くの子どもたちが楽しんでいます。



治田の祇園祭。暑い日でしたが、にぎやかでした。

秋、気候がよくなって、外で遊ぶ子どもたちの姿が増えてきました。学校の昇降口で

のあいさつは、年間を通して行っています。熊出没や不審者に対応した巡回も行いました。11月には、青少年の健全育成に協力してくださっている協力店を訪問し、お店の様子を見させていただきました。



小学校での下校あいさつ・見守りは互いに笑顔です。



酒類販売の様子。年齢への注意喚起表示がされています。



参観日後下校見守り。保護者ともあいさつを交わします。

冬、武水別神社のお祭りや、懇談会で半日になる日の公園などを巡回しました。補導委員会の定例会は年間6回行われており、1月定例会では1年間の反省をしました。



大頭祭の巡回。元気な子どもたちの演技に大きな拍手。



内川公園。寒くても集まって遊ぶ小中学生に会えます。



市役所会議室での様子。地区ごとに反省会をします。

2年間、ありがとうございました

令和6年度・7年度の少年補導委員は、3月31日で任期が終了します。委員の皆様、2年間の活動ありがとうございました。委員の感想を紹介します。

最初は、どうすればいいのかわからないことばかりでしたが、とても新鮮な体験でした。委員として活動するたび、児童と接する時間が楽しくなってきました。

外で遊ぶ子どもたちが少なくなり、巡回中会えたり、関わったりする子が減って、寂しい気持ちになります。公園などで集まる子も学年ごと男女別が多いようです。

子どもは純真で、飾り気がないので、本音で語ってくれます。まっすぐ成長していくために大人たちが邪魔にならないように手助けをしていくことが肝要です。

2年間、青パト隊を経験して、活動内容を知り、自分の財産になったので、多くの人に経験してほしいと思います。ありがとうございました。



～わたしのゆめ～



千曲市で学び、育っている子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介합니다。

「私の将来の夢」

更級小学校 4年 大谷 優希愛

私の将来の夢は、「まんが家になること」です。私は、まんが本をたくさん読んでいます。まんが本を読んでいると、「すごい。」や「おもしろい。」「かわいい。」が頭の中で浮かんできます。そうすると自分で想像して新たな物語が生まれてくるのが好きだったのが夢のきっかけです。

夢の達成のためにまんがをたくさん読んで、かき方を勉強し、人の輪郭や目、口、鼻などさまざまなパーツを女の子らしく、男の子らしくはっきりとした表情がかけられるように頑張りたいです。



「水泳の楽しさを教えるスイミングのコーチ」 東小学校 4年 酒井 凜子

私は5歳からスイミング教室に通っていて、水泳が得意です。水泳が上手になれたのは、スイミングのコーチが教えてくれたからです。水泳が大好きな私の夢は、誰かに教えて水泳が上手くなってもらえるようなスイミングのコーチになることです。スイミングのコーチになったら、私に教えてくれたコーチのように、泳ぎ方だけでなく、水泳の楽しさを教えたり、頑張る気持ちになれるようなアドバイスをしたりできるようにになりたいです。



これからも水泳を続けて、もっとうまく泳げるようになって、今度は誰かに教えてあげられるように、コーチのアドバイスを聞きながら一生懸命練習していきたいです。

「みんなを笑顔に」

屋代小学校 5年 亘 美陽

私の夢は、周りの人を笑顔にすることです。

困っている人を助けたり、わからない問題を教えたりすると、相手がありがとうと言ってくれます。ありがとうと言ってくれると、手伝ってよかったな。と思います。

周りの人を笑顔にする。そのために、先生や友だちの話をうなずきながら聞いたり、わからない問題があってもそのままにしないで友だちに聞いたりしたいと思います。



そして、教えてくれたときには必ず「ありがとう。」と言いたいです。小さい積み重ねを大切に、周りの人を笑顔にできるようにになりたいです。

「わたしの夢」

埴生中学校 2年 宮澤 宏旭

僕の将来の夢は、何かを作る仕事に就くことです。僕は、昔から工作が大好きで、自分で物を形にしていく時間が、とても楽しいと感じてきました。そのため、大人になったら、僕が作る何かの人が役に立つようにしていきたいです。



そのために、美術や技術で何かを作るときには、丁寧に作っていきたいです。もし、失敗しても、「次はきっと上手に作れる」と、前向きに考えていきます。

自分の作った物が、誰かの役に立ったり、生活が少しでも楽になったりしたのであれば、それはとても幸せなことだと思います。これからもあきらめずに、夢に近付けるように頑張っていきたいです。